

第39回全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会の部 実施要項

1) 日 時

令和元年9月8日(日) 午前9時30分受付 午前10時～午後4時
雨天決行
(但し、当日午前7時現在で、京都府内に暴風警報が発令されていれば中止とする。)

2) 会 場

京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場
京都市右京区西京極新明町 阪急電車 西京極駅下車 徒歩10分

3) 運営協力

京都陸上競技協会

4) 参加資格

京都府内に在住・在勤・在学する者で障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ12歳以上(平成31年4月1日現在)の者。

5) 競技種目及び競技方法

①競技種目は全国障害者スポーツ大会に準拠するが、本大会用に設けたものもある。
(別紙障害別適用表参照)

注1) 障害区分により競技種目が異なるので、よく適用表を見て申し込むこと。

注2) 選手は競技に支障のない服装を着用すること。

注3) スパイクは全天候型トラック用の9mm以下であること。

その使用については、全国障害者スポーツ大会に準ずる。

注4) ナンバーカードは必ず着用すること。(主催者で準備し当日貸与する)

注5) 車いすは各自で準備すること。

②団体競技として、男女別に聴覚障害の部4×100mリレー、車いす使用の部4×100mリレー、療育の部4×100mリレーおよび療育の部男女混成の4×100mリレーを行う。

③特別競技として、400mリレー(車いす50m、視覚障害50m、肢体障害100m、介助者100m、聴覚障害100m)を行う。参加者はチームを編成のうえ申し込むこと。男女の別は問わない。

6) 競技規則

競技規則は公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」と本大会申し合せ事項による。

①競技は障害区分別、年齢区分別、性別で行う。年齢別の区分は、A(30歳未満)・B(30歳以上40歳未満)・C(40歳以上55歳未満)・D(55歳以上65歳未満)・E(65歳以上)とし、いずれも平成31年4月1日現在とする。

②出場者数等の都合により年齢区分を異にするものを同時に競技することがある。
なお、この場合表彰は年齢区分毎に行う。

③競技は原則として予選を行わず、トラック競技はタイムレース、フィールド競技は試技3回により順位を決定する。但し参加者数等により試技2回とすることがある。

④競技への出場はリレーを除き1人1種目とする。

7) 参加申込

①別紙参加申込書に必要事項を記入し(男子は黒書・女子は朱書)、7月22日(月)必着にて申し込むものとする。当日の参加申込みは受けつけない。

申 込 先	〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5 京都市障害者スポーツセンター内 (一社)京都障害者スポーツ振興会
-------	---

②なお、参加料(1人500円)は大会当日受付にて納入すること。

8) 表 彰

種目別・障害区分別・年齢区分別・性別の1位～3位入賞者にメダルを授与する。

なお、全員に記録証を授与する。

9) 留意事項

①介助者として選手と一緒に競技場内に入る場合は、申込書の希望欄に○印をすること。
(当日受付で腕章を貸与する。腕章がなければ競技場内に入ることは認めない)

②競技中の事故については、応急手当のほか主催者の加入する保険の範囲でのみ保障する。

③事故を防ぐためにも、大会当日までに各自で十分トレーニングを行って参加すること。

④事前に医師の診断を受ける等、十分な健康管理の下に参加すること。

10) その 他

①申込み後、何らかの事情で出場できない場合は必ず事前に連絡をすること。

②陸上競技場の駐車場は、ゲート式有料駐車場となりましたので、ご理解の上ご利用ください。なお、市町村・施設・学校からバスで来られる団体は申込書にその旨ご記入願います。

③次年度の全国障害者スポーツ大会に出場希望者は、申込用紙の希望欄に必ず○印をすること。但し選考にあたっては過去に出場経験のない人が優先されます。

なお、全国障害者スポーツ大会は、身体障害者手帳(大会規定により、内部障害で膀胱、又は直腸機能障害の人は対象とし、それ以外の内部障害の人は対象とならない)・療育手帳所持者が対象です。

④ホームページ、マスメディア等に写真や大会成績が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、(一社)京都障害者スポーツ振興会へ

TEL・FAX(075-712-7010)

(但し、日・祝・火曜日及び第3金曜日を除く午前10時～午後6時)

第39回全京都障害者総合スポーツ大会

陸上競技大会の部 参加申込書

※ 楷書でていねいに記入して下さい。(男子は黒書、女子は朱書で)

ふりがな		男・女	歳
氏名			
住所	〒 _____ TEL (_____) _____		
年齢区分	A. 30才未満 B. 30才以上40才未満 C. 40才以上55才未満 D. 55才以上65才未満 E. 65才以上 (該当区分に○印をして下さい)		
所属または行政区			
出場種目	ナンバーカード		

該当箇所に○印をして下さい

障害者手帳	障害名 (手帳に記載されている障害名を記入して下さい)	障害区分番号 (右の区分参照)
身体・療育・精神		

次年度の全国障害者スポーツ大会の出場 (いずれかに○印を)	①希望する	②希望しない
全国障害者スポーツ大会出場経験の有無	有・無	④の人はどこの府県であった大会ですか
今年度の全国車いす駅伝競走大会の出場	①希望する	②希望しない
視覚障害者での伴走者	①必要 ②不要	必要の人は、①自分で確保 ②主催者側に依頼
主催者側に依頼する人は自分の記録を記入のこと	距離 m	記録 分 秒
介助者	①有 ②無	団体名
バス等の種類	①大型バス ②マイクロバス	車の高さ m cm
手話・要約必要な方へ	手話通訳、要約筆記が必要な方は、どちらが必要かご記入ください。 <input type="checkbox"/> 手話通訳 <input type="checkbox"/> 要約筆記	

リレー申込書

特別リレー申込書

種目別	チーム名	チーム名
チーム名	第1走者	車いす使用者
第1走者	第2走者	視覚障害者
第2走者	第3走者	肢体障害者
第3走者	第4走者	介助者
第4走者	第5走者	聴覚障害者
補欠	補欠	
補欠	補欠	

- 注) 1. 参加申込書は必ず記入してください。(ナンバーカードを除く)
 注) 2. リレー、特別リレーとも必ず、チームを編成して、申し込んでください。
 個人申込は受けつけません。
 ※ 事前に医師の診断を受ける等、十分な健康管理の下に参加すること。
 ※ 上記の個人情報、当該目的以外には使用いたしません。

全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会 種目一覧表 (男女共通)

◎男女別・年齢区分別

		全国障害者スポーツ大会兼全京都陸上大会種目																			
		全国大会選考対象外種目	全国大会選考対象種目																		
		競走					跳躍			投てき											
		障害区分番号	障害区分	3000m急歩	3000m	5000m	10000m	20000m	40000m	80000m	150000m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ピンバグ投		
肢体不自由	1	上肢	1 手部切断 片前腕切断 片上肢不完全 片上腕切断 片上肢完全			○	○	○								○	○	○	○	○	
			2 両前腕切断、片前腕・片上腕切断 両上肢不完全			○	○	○							○	○	○				
			3 両上腕切断 両上肢完全			○	○	○							○	○	○				
		下肢	4 片下腿切断 片下肢不完全				○	○									○	○	○	○	○
			5 片大腿切断 片下肢完全			○		○	○								○	○	○	○	○
			6 両下腿切断				○	○									○	○	○	○	○
			7 片下腿・片大腿切断 両下肢不完全			○	○		○								○	○	○	○	○
		8 両大腿切断 両下肢完全			○	○												○	○	○	
	9 体幹				○	○	○								○	○	○	○	○		
	2	脳原性麻痺以外で 車いす使用	10 第6頸髄まで残存				○	○						○						○	
			11 第7頸髄まで残存					○	○					○						○	
			12 第8頸髄まで残存						○	○					○					○	
			13 下肢麻痺で座位バランスなし						○	○										○	
			14 下肢麻痺で座位バランスあり							○	○									○	
	15 その他車いす								○	○									○		
3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳外傷等)	16 四肢麻痺で車いす使用					○	○					○						○		
		17 けって移動						○					○						○		
		18 片上下肢で車いす使用						○	○										○		
		19 上肢で車いす使用						○	○	○									○		
		20 その他走不能							○	○									○		
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能							○	○	○								○		
4		22 その他走可能					○	○	○						○	○	○	○	○		
		23 電動車いす使用												○					○		
視覚障害		24 視力0から0.01まで					○	○	○	○					○	○	○	○	○		
		25 その他					○	○	○	○					○	○	○	○	○		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害		26 聴覚障害					○	○	○	○					○	○	○	○	○		
療育		27					○	○	○	○					○	○	○	○	○		
内部障害		28					○	○							○	○			○		
精神保健		29					○	○	○	○					○	○			○		

- ※ 4×100mリレーは男女別に行う。
 ※ 次年度の全国障害者スポーツ大会出場希望者は、全国大会選考対象種目の中から選んで申し込んでください。
 ※ 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
 ※ 視力は「矯正後の両眼視力」の和で判定する。視力の和を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指教弁は視力0.01とする。

キ
リ
ト
リ
線

【障害区分の説明】

- 1 完全とは、上肢や下肢の大きな3つの関節の機能が損傷を受け、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
- 2 体幹障害とは、脳原性麻痺を除く脊柱障害のもの（脊柱側弯など）。
- 3 関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
- 4 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合には、7級に認定された障害の区分で競技に参加してもよいが、多肢切断や両上肢障害などのように、複数の部位の切断や機能障害の場合には、3肢以上（多肢）や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。
- 5 座位バランスの判定は、「へそ」の位置での知覚レベルの有無が一つの判断基準になる。背もたれのない椅子に座り両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランス有り」と判断する。
- 6 肢体不自由者2で、頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。
- 7 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害である。
- 8 視力は、両眼の和でなく、矯正後の良い方の目の視力である。
- 9 競技上の注意
 - ① 身体障害が重複している場合でも、同一の大会では、同じ障害区分で参加すること。
 - ② 上腕切断が前腕切断で参加するように、より軽度の区分での参加は認めない。
 - ③ 両下肢完全の者が、補装具を付けて立位でソフトボールを投げ、競技のときだけ車椅子で卓球をするなどは認められる（申込書に明記すること）。

〈スラロームの障害物および旗門の位置〉

